

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茨木市彩都あさぎ1丁目計画	階数	地上2F
建設地	大阪府茨木市彩都あさぎ1丁目18番	構造	S造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	341 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,736 時間/年
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2016年8月29日
敷地面積	18,189 m ²	作成者	
建築面積	2,805 m ²	確認日	2016年8月29日
延床面積	5,545 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	自動車導線を明瞭とすることにより、駐車時の渋滞緩和等CO ₂ 削減に努めている。	その他 特に無し
Q1 室内環境 評価対象外	Q2 サービス性能 外装材にサンドイッチパネルを採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 適切な植栽を配置計画している。
LR1 エネルギー 照明設備の制御方法の工夫をしている。(自動減速器、タイマー)	LR2 資源・マテリアル 鉄骨とガルバニウム鋼板パネルにて構成することにより、部材の再利用可能性向上への取組みに配慮している。	LR3 敷地外環境 駐車スペースを十分確保し渋滞抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0088

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)茨木市彩都あさぎ1丁目計画新築工事 自走式駐車場						
	建設地	大阪府茨木市彩都あさぎ1丁目18番、19番の一部						
	用途/区分	工場						
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-		
	CO2削減					5		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
	エネルギー消費量の報告					報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
	項目	評価内容			スコア	評価		
	① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			4.6	5		
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体		4	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.0
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。						報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
	項目	評価内容			スコア	評価		
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3		
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			4.0			
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
その他								
		技術の名称	考慮事項					
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							